

公共交通計画の基本方針（案）

資料 3

〈前回示した（R5.5時点）の 基本方針（案）〉

【基本方針 1】
地域公共交通ネットワークの形成
（持続可能）

【基本方針 2】
地域公共交通の利便性の向上
（誰もが利用しやすい）

【基本方針 3】
地域公共交通の利用促進
（誰もが分かりやすい）

社会情勢等の変化・アンケート実施・ヒアリング実施

【社会情勢等の変化】 2024年問題
【バス利用者ヒアリング】 バス運行本数が少ない。
【バス利用者ヒアリング】 便数が少ないので増やして欲しい。
【事業者ヒアリング】 減便やダイヤ改正等を実施するも、
運転士不足は解消されていない。
運転士の高齢化が進んでいる。など

【社会情勢等の変化】 デジタル化の進展
【社会情勢等の変化】 カーボンニュートラルの実現
【高齢者アンケート】 バス路線は必要と感じているため、
利便性が向上すると利用したい。
バス運賃の支払い方法が分からなくて困った。
【バス利用者ヒアリング】 医療センターに行きやすくして欲しい。
など

【社会情勢等の変化】 極端な大雨・猛暑（熱中症警戒アラート）
【バス利用者ヒアリング】 バス停に屋根やベンチをつけて欲しい。
夏は日差しが強いので、屋根があると、お年寄りにとっては助かる。
バスがいつ来るか分かるようにして欲しい（バスロケーションシステム）。 など

【社会情勢等の変化】 公共交通の規制緩和
【高齢者アンケート】 バス運行本数が少ない。
体が不自由でいろいろ補助してもら
う必要がある。
めったに出かけませんが、夕方バス
が無いので困った。
【バス利用者ヒアリング】 便数が少ないので増やして欲しい。
など

〈新たな基本方針（案）〉

【基本方針 1】
運転士不足対策
【主な施策】
・公共交通の担い手確保の推進
・バス路線の維持・再編

【基本方針 2】
利用しやすい公共交通ネットワークの整備
【主な施策】
・バス路線の維持・再編
・交通系 IC カード等の利用促進
・環境に優しい公共交通の利用促進

【基本方針 3】
待合環境の向上
【主な施策】
・利用環境の整備
・分かりやすい情報提供

【基本方針 4】
交通弱者に対する交通手段の確保
【主な施策】
・新たな交通モードの導入検討
・地域の実情に応じた公共交通を補完する取組への支援